



ふくい社会福祉

ふれあいネットワーク

4

No.410



温故知新 ～一途に社協道～



タイトル 「あけぼの」
～朝霧を背景とした糸桜と唐門～

撮影場所 朝倉遺跡公園

撮影時期 平成26年4月上旬

撮 影 者 チャレンジ写真塾 永田 都志雄



平成27年度事業がスタート

ふくい地域福祉プラン 21（推進期間：平成 27 年度～

る 福祉社会の実現」に向け、市町社会福祉協議会、社会
県民から期待・信頼される地域福祉の推進を図るため、

トとそれを支える地域づくり

活動の推進

(2) 日常生活自立支援事業の実施

- ◆ 契約締結審査会の運営等
- ◆ 福祉サービス利用援助事業の推進（17市町社協へ委託）

(3) 高齢者権利擁護推進事業の実施

- ◆ 高齢者専門相談窓口、高齢者権利擁護相談窓口の開設
- ◆ 高齢者権利擁護対応専門職チームの派遣など

(4) 市民後見人養成講座の開催

3 社会福祉法人の地域貢献活動における連携・支援

- (1) 社会福祉法人の地域貢献活動の情報収集および発信
- (2) 社会福祉法人の地域貢献に関する研修の実施

4 社会福祉法人・施設の適正な経営を行うための相談・支援体制の強化

- (1) 社会福祉施設経営相談事業の実施
- (2) 介護サービス情報の公表事業の実施
- (3) 福祉サービス第三者評価推進組織の業務の実施
- (4) 福祉サービス第三者評価事業の実施
- (5) 地域密着型サービス外部評価事業の実施
- (6) 職場における個人力・チーム力を高めるための実践研修の実施
- (7) 保育部会活動の充実
- (8) 福祉施設等種別協議会活動への支援
- (9) 民間社会福祉施設職員退職共済事業の実施

IV 福祉力を動かす組織づくり

1 広域ネットワークを活かした災害時福祉救援体制の強化

- (1) 社会福祉施設における災害対策支援
 - ◆ 防災マネジャー養成研修等の実施
 - ◆ 県内種別協議会災害応援連絡会議の実施
- (2) 災害時における社協相互支援体制の強化
 - ◆ 相互支援のための実地訓練の実施
 - ◆ 東海北陸ブロック県・名古屋市社協災害応援協定
 - ◆ 北陸3県社協合同研修会の開催（富山県・石川県と共催）
- (3) 災害時福祉・介護分野の広域ネットワークづくり
 - ◆ 福祉・介護分野の広域ネットワーク基盤づくりなど

2 災害時に対応できる福井県社協の危機管理体制の強化

- (1) 福井県社協のリスクマネジメントの強化
 - ◆ 災害時における事業継続計画（BCP）策定に向けた検討
- (2) 福井県社会福祉センターの機能強化
 - ◆ 避難者・帰宅困難者支援のための災害用備蓄品の整備

3 信頼される法人組織の体制強化

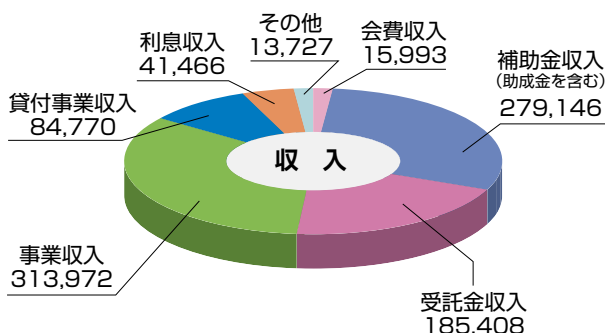
- (1) 理事会・評議員会機能の充実と強化
- (2) 職員の資質・専門性の向上
 - ◆ 職場研修制度に基づく職員のスキルアップ
- (3) 業務の進行管理・目標管理等に関する仕組みの強化
- (4) 広報誌、ホームページ等を通じた関連情報の提供
 - ◆ 情報紙「ふくい社会福祉」の発行（年10回）など
 - ◆ 福祉情報サロン機能（蔵書閲覧等システム）の強化
 - ◆ 「ふくし広報コンテスト2015」の実施
- (5) 福井県社会福祉センターの指定管理業務の推進

4 適切な財務管理と財務体質の見直し

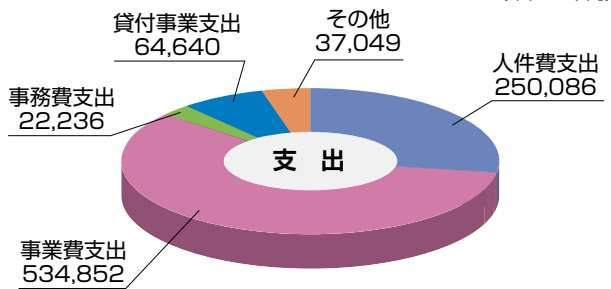
- (1) 多様な民間財源の活用と自主財源の確保
 - ◆ 収益事業の強化
- (2) 事務、予算の効率的かつ迅速な執行体制の確立
 - ◆ 事務処理の標準化および運営事務費のコスト削減

平成 27 年度収支当初予算の概要

※ 事業活動による収支状況（基金等原資の資産運用、各会計間における繰入・繰出による収支を除く）



934,482 千円



908,863 千円

平成 27 年度当初予算による福井県社会福祉協議会の事業活動による収支状況について、概要（イメージ）をご理解いただくためにグラフとして表現したものです。このため、基金等原資の資産運用、各会計間における繰入・繰出など、その他の活動による収支についての予算は反映させておりません。

I 福祉力を育むまちづくり

1 県民みんなが支え合うことができる環境づくり

- (1) ご近助拠点づくり推進モデル事業の実施
◆小地域支え合い(ご近助)拠点づくり
- (2) 介護実習・普及センター事業の実施
◆家庭介護講座、介護出前講座の開催
- (3) 異世代ホームシェア事業への支援

2 県民の福祉活動・ボランティア活動を後押しする仕組みづくり

- (1) 「つながれボランティアの輪推進運動」の実施
◆ボランティア月間(9月)の広報啓発
◆サマーボランティア体験、ボランティア作文コンクール、エコキャップアートコンテストの実施
◆「ふくい・つながりフォーラム2015」の開催
◆市町村協会のボランティア活動推進事業費への助成
- (2) 福井県まごころ基金助成事業の実施
◆民間の先駆的・開拓的な事業に対する助成
- (3) 地域ぐるみ福祉教育推進事業の実施
- (4) 「第62回福井県社会福祉大会」の開催
- (5) 「ふくい地域福祉実践賞」による顕彰
- (6) 各種協賛事業を通じた福祉活動の普及啓発
◆「第4回ふくいチャリティアート展」の開催
◆福祉車両(チャリティアート号、積善会号)の寄贈

3 県民、民生委員、福祉委員等の多様な主体を巻き込んですすめる地域福祉の戦略づくり

- (1) ご近助拠点づくり推進モデル事業の実施 ※再掲
- (2) 福井県民生委員児童委員協議会の支援および民生委員・児童委員活動との連携
- (3) 福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会(通称:F・パネット)への支援
- (4) ふくい県民活動・ボランティアセンターとの連携

4 市町村協会の連携・協働による地域の福祉課題を解決するための仕組みづくり

- (1) 「県市町村協会会長」の運営支援
- (2) 市町村協課題解決戦略会議(事務局長会議)の開催
- (3) 市町村協トップセミナー、市町村協ボランティアセンター実践研究会の開催
- (4) 社協ワーカーの実践力向上に対する研修の実施
- (5) 社協ボランティアセンター基幹職員の実践力向上支援
- (6) 市町村協強化に向けた「ステップアップミーティング」の開催

II 福祉力を支える人づくり

1 福祉・介護を支える福祉人材確保と定着のための支援の強化

- (1) 介護人材確保定着総合推進事業の実施
◆福祉・介護人材のマッチングの強化
◆事業所訪問による人材確保・育成支援
◆専門家の派遣による個別課題への対応
- (2) 学校等訪問・介護職場体験事業の実施
◆小中学校等訪問講座の実施
◆小中学生等の介護職場体験の機会調整
◆高校生介護職場体験・講演会の実施

福井県社会福祉協議会

平成 27 年度は、本会の中期活動計画である「第4次31年度」のスタートの年となります。

「誰もが身近な地域で その人らしく 安心して暮らせ 福祉施設、福祉関係団体、公的機関等と連携・協働し、以下の重点項目に基づき、各種事業に取り組んでいきます。」

重点課題

- ① 県民の暮らしを守るセーフティネット
- ② 福祉・介護と地域を支える人づくり
- ③ 社会福祉法人と協働する地域貢献

(3) 福祉人材センター、無料職業紹介事業の実施

- ◆ふくい福祉就職フェア、ふくしジョブミニパーク(地域型ミニ面談会)の実施

2 福祉・介護を支える専門職の育成と資質の向上

- (1) 福祉職員生涯研修の実施
◆福祉職員生涯研修(キャリアパス対応)の実施
- (2) 福祉職員専門課題別研修の実施
- (3) 福祉職員業種別・職種別研修の実施
◆保育士(主任、リーダー等)研修の実施など
◆介護技術向上研修(初任・中堅)の実施など
- (4) 介護支援専門員養成、資格取得支援研修の実施
◆介護支援専門員専門・更新研修の実施
◆介護支援専門員試験準備講習会、模擬テストの実施
◆介護支援専門員実務研修受講試験の実施

3 地域における多様な地域福祉人材の発掘・養成・活動への支援

- (1) ご近助拠点づくり推進モデル事業の実施 ※再掲
- (2) 施設・社協ボランティアコーディネーター研修会の開催

4 元気高齢者(アクティブ・シニア)の社会参加の促進と生きがいづくり

- (1) 明るい長寿社会づくり推進事業の実施
◆「ふくい健康長寿祭2015(鯖江市)」の開催
◆「第28回全国健康福祉祭(山口県)」への選手派遣
◆情報誌「福悠人」の発行(年6回)
◆高齢者ラジオ放送講座の開催
◆アクティブ・シニア(アクション助成等)養成支援
◆チャレンジ塾の開催

III 福祉力を活かすシステムづくり

1 生活困窮者の自立支援体制づくり

- (1) 「ふくい・つながりフォーラム2015」の開催 ※再掲
- (2) 地域で支えるセーフティネットづくり勉強会の開催
- (3) 生活福祉資金貸付事業の実施

2 福祉サービス利用者の利益保護と権利擁護システムの機能強化

- (1) 福祉サービス苦情解決事業の推進
◆苦情解決体制整備等に関する事業所訪問相談の実施
◆「福祉サービス苦情解決セミナー」の開催など

福祉でまちづくりを応援します

会員の皆さんとの協働により、県民一人ひとりの自立した暮らしを守るため、身近な地域での支え合い活動やボランティア活動の推進を図っています！

福祉力を育むまちづくりの推進

○つなぐボランティアの輪推進運動の展開

県民の皆さんがボランティア活動を通じて「つながり」を実感できるよう、様々な事業を通じて運動を展開しています。皆さんのご参加をお待ちしています！

〈実施期間〉

7月～11月

〈主なプログラム〉

- エコキャップアートコンテスト
- サマーボランティア体験2015
- ボランティア作文コンクール
- ふくい・つながりフォーラム2015

詳しくは、チラシや県ボランティアセンターHPで随時お知らせします。



県ボランティアセンター
マスコットキャラクター
ランティー

各市町の特徴を活かした「あなたのまちのランティー」のイラストもあります！詳しくは県ボランティアセンターHPをご覧ください。



エコキャップアートコンテスト表彰式

○福井県まごころ基金助成事業

民間の福祉施設・団体等が実施する先駆的・開拓的な事業に対して助成します。

詳細は、県社協HPに掲載しています。

県民一人ひとりの自立した暮らしを守る セーフティネット体制づくり

○日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的・精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づく、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理などを行います。

○生活福祉資金貸付制度

所得の少ない世帯、障がい者や介護を必要とする高齢者がいる世帯の生活の安定と経済的自立を図るために資金をお貸しする事業です。

○さまざまなネットワークを活かした活動の展開

県民生委員児童委員協議会や県企業等ボランティア・社会貢献連絡会、県ホームヘルプサービス事業者協議会への支援などを通じ、多様な主体とのネットワークを活かした地域福祉活動を展開しています。



事業に関する相談・受付は、お住まいの市町社協まで。

福祉の“人”づくりを応援します

「福祉のきつかけづくりから採用・定着・研修まで」

「福祉の仕事を目指したきつかけは
小中学生のときの介護体験です！」

学校訪問・介護職場体験事業

若年層に将来職業選択の際には
“福祉”を選んでもらえるよう、小
中学校等での出前授業や福祉施設の
見学・体験を通して、福祉の仕事の
イメージアップを図ります。

※夏休みに高校生の体験イベントも実施！



「福祉人材センターで相談して

今の仕事を見つけました！」

福祉人材無料職業紹介事業・
関連事業

常設の相談窓口や移動相談会、就
職説明会などを通じて、意欲のある

方に福祉の仕事
を紹介していま
す。資格取得の
相談や面接対策
講座、施設見学
会なども実施し
ています。



□ 福祉のしごと説明会

(就職イベント)

平成27年8月9日(日)
平成28年3月5日(土)

「人材確保のコツを

アドバイスします！」

介護人材確保定着総合推進事業

「人材確保は魅力ある職場づくり
と定着率の向上から」を合言葉に、
福祉施設・事業所を訪問し、労働環
境改善や定着のアドバイスを行いま
す。さらに求人・求職両者の調整役
を担い、適切なマッチングで福祉人
材確保を支援します。

「新たな専門知識・技能習得により

あなたの価値を高めます！」

さまざまな研修事業

福祉従事者

が将来展望を

持ち、自らの

職業人生の意

味を深め、そ

の価値を高め

ていくことが

できるよう、

キャリアパス

対応研修や専門課題別の研修など資

質向上に必要な研修を数多く実施

し、より専門性の高い福祉従事者の

育成を図ります。



「法律・税務・介護など、

高齢者の悩み相談はこちらまで！」

高齢者権利擁護推進事業

毎週相談日を設けて、高齢者のさ
まざまな心配ごとに専門家がお答え

します。また、地
域包括支援セン
ターなど高齢者の
相談機関どうしの
連携、専門家チー
ムの派遣等によ
り、より複雑な問
題の解決について
の支援を行います。



福岡県内

ふくし施設ガイドブック

福祉の仕事を目指している求
職者のための参考資料として作
成しました。

同じものが福岡県社協ホーム
ページ「福祉人材センター」か
らダウンロードできますので
ぜひご利用ください。

高齢者の生きがいづくりや 介護の人材育成や広がり を応援します。

高齢者の生きがいづくりと健康づくりを増進するため、高齢者の自主的な取り組みや地域活動を支援します。また、介護を地域社会で支援する意識醸成と介護知識・技術の普及および促進を図ります。

高齢者の生きがいづくり(自主的な取り組みや地域活動)に対する支援

(1) アクティブ・シニア養成事業

地域活動を希望する高齢者(55歳以上)を対象に、担い手が不足している地域活動に関する講座を実施。

- 講座内容
- ① 運転ボランティア養成
 - ② サロン活動支援者養成
 - ③ 家庭内生活支援者養成
 - ④ 傾聴ボランティア養成

(2) リーダー養成事業(オトナのたのめ)のあつたらいいな(実現塾)

地域活動を主体的に担っていく高齢者(55歳以上)を対象に、活動の立ち上げや自主的な運営手法等の講座を実施。

(3) アクティブ・アクション助成事業

高齢者の自主的な取り組みを推進するため、新規グループの立ち上げおよび新規事業に対する助成を実施。

上限25万円 4団体程度

(4) 活動支援事業

地域活動者同士の交流を促し、活

動意欲の増進ならびに活動者として必要な知識や情報を互いに学び合う交流会の実施。

一般県民対象 楽・らく家庭介護講座

平成 26 年度	平成 27 年度
家庭介護に役立つ具体的な介護の知識・技術を習得する。 	家庭介護に役立つ具体的な知識と、自立支援のための自助具を含む福祉用具を活用した技術を習得し、介護者自身が心身の健康にも配慮しながら、介護に継続して取り組める力を身につける。 ① 介護サービスの上手な使い方 ② おためし介護体験 ③ はじめましょう介護予防 ④ みんなに知ってほしい認知症

介護職員対象 初任者向け介護技術向上研修

平成 26 年度	平成 27 年度
初任者の教育の場として、高齢者の介護に携わる介護職員等に対し、基礎的な知識と福祉用具も取り入れた介護技術を習得し、すぐに実践できる力をつける。	初任者の教育の場として、ICFの理念に基づいた介護の基本的な知識や正しい福祉用具の使い方、介護技術を習得する。さらに「尊厳を支えるケア」の実現に向けて、質の高いサービスを提供できる人材を育成する。 介護概論・医学の知識・介護技術 共通内容 (ICF・コミュニケーション・介護過程)

介護職員等対象 新 中堅者向け介護技術向上研修

腰痛予防
社会の動向(腰痛予防や福祉用具・介護ロボット等)の最新情報を提供すると共に、移動・移乗関連の福祉用具の活用方法と援助技術を修得する研修を実施し、腰痛予防の促進および指導者を育成する。 自然な身体の動かし方 移乗用福祉用具の使い方

介護の人材育成に対する支援

平成27年度は福井県介護実習・普及センターが実施する講座、研修を更に充実させるため見直しを行い実施します。

見直しポイント

- ① 一般県民を対象とした本人の自立や介護の負担軽減を図るための介護講座の開催。
- ② 現役世代の介護力を高めるための一般企業における介護講座の開催。
- ③ 現場のニーズに焦点を当てた研修内容の見直しと経験年数に応じた分類。

福祉・介護サービスの利用を応援します

福祉サービス事業者が自ら行うサービスの質の向上に向けた取り組みへの支援や事業経営に関する様々な相談等に適切に対応するなど福祉事業所における適正な経営を支援するための事業等を行っています。

【福祉サービス第三者評価事業】

【地域密着型サービス外部評価事業】

【介護サービス情報の公表事業】

いずれも福祉サービスの質の向上の支援や福祉サービスを利用する高齢者、その家族への情報提供および適切なサービスを利用する機会を確保するため実施しています。

【社会福祉施設経営相談事業】

◎ 社会福祉法人施設の適正な運営を図るため、研修等を行っています。

【種別組織活動支援事業】

◎ 福祉施設防災担当職員研修

◎ 福祉施設の防災力アップおよび防災担当職員の養成を行うものです。

◎ 職場における個人力・チーム力を高めるための実践研修

◎ 他施設（高齢者・障がい者・児童）での取り組みから学べます。他施設において実践的な実習を行います。

【民間社会福祉施設職員退職共済事業】

【福井県運営適正化委員会】

（福祉サービス苦情解決事業）

◎ 利用者等からの苦情を適切に解決するため中立・公正な立場から相談、助言等を行っています。

【福井県社会福祉協議会保育部会】

◎ 県内の保育事業の発展に資するため、保育研究大会・保育研修会を開催しています。

【福井県社会福祉法人経営者協議会】

【福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会】

【福井県デイサービスセンター協議会】

◎ 研修開催や情報提供をしており、随時入会を受付けています。

第5回 福祉車両（積善会号）寄贈事業

本県の社会福祉の増進に寄与することを目的に、県内社会福祉法人等への福祉車両寄贈事業を実施します。

寄贈車両

バンタイプ1台

寄贈対象事業

高齢者や障がい者、住民が地域でつながりを深めていくことを目的に実施する事業等
※児童福祉事業を除く

募集時期

7月

詳細は随時郵送、ホームページなどでご案内します。

積善会は、昭和45年から平成25年まで、43年間にわたり県内の福祉団体や福祉活動に積極的に助成を行うとともに、教育、地域づくりなど幅広い活動を支援してきた団体です。同会からの助成金運用益を活用し、実施します。

ふくし広報コンテスト 2015

県内の社会福祉法人・NPO法人を対象に、広報力の強化を通じた社会福祉活動の一層の普及啓発をすすめることを目的に、「ふくし広報コンテスト 2015」を開催します。

応募部門

- I サービス利用者や家族の読者を対象に発行している広報誌
- II 地域住民等 幅広い読者を対象に発行している広報誌

募集時期

7月

入賞区分

最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞

表彰

第62回福井県社会福祉大会にて表彰します。
審査にあたっては企画力、デザイン力、文章力を総合的に評価します。



昨年度 部門I最優秀賞「ハスの実だより」

第2回ふくい地域福祉実践賞

県内各地域で取り組まれている優れた福祉実践活動を掘り起こし、本県における地域福祉の一層の推進を図っていくため、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の生活課題の解決に向け自主的な活動に取り組む団体等を広く顕彰していきます。

ふくいチャリティーアート展 ～未来を支える子どもたちのために～

福井県にゆかりのある芸術家や著名な方から協賛いただいた書・絵画等の作品を展示し、入札方式にて頒布する「ふくいチャリティーアート展」を開催します。

作品頒布による収益金は、県内で児童福祉活動を行う団体に福祉車両の寄贈等に活用します。



作品の展示・頒布



収益金による福祉車両の贈呈

福井県自立促進支援センターの業務終了について

本会が福井県から委託を受けて運営してきた「福井県自立促進支援センター」は、「福井県生活困窮者就労・自立支援モデル事業」の完了日である平成27年3月31日をもって業務を終了しました。

平成27年4月1日以降は、福祉事務所設置の自治体が実施主体となり、生活困窮者自立支援制度として本格的にスタートしています。

生活困窮者自立支援制度に関するご相談については、以下の各福祉事務所・県健康福祉センター等にお問い合わせください。

お住まいの市町	お問合せ先 / 電話番号（※）	お住まいの市町	お問合せ先 / 電話番号（※）
福 井 市	福井市福祉事務所 0776-20-5404	越 前 市	越前市社会福祉協議会 0778-22-8500
敦 賀 市	敦賀市福祉事務所 0770-22-8123	坂 井 市	坂井市福祉事務所 0776-50-3041
小 浜 市	小浜市福祉事務所 0770-53-1111	永 平 寺 町	福井健康福祉センター 0776-36-1116
大 野 市	大野市福祉事務所 0779-66-1111	越 前 町	丹南健康福祉センター 0778-51-0034
勝 山 市	勝山市社会福祉協議会 0779-88-1177	池田町・南越前町	丹南健康福祉センター武生福祉保健部 0778-22-4135
鯖 江 市	鯖江市福祉事務所 0778-53-2216	美浜町・ 若狭町(旧三方町)	二州健康福祉センター 0770-22-3747
あ わ ら 市	あわら市福祉事務所 0776-73-8020	高浜町・おおい町・ 若狭町(旧上中町)	若狭健康福祉センター 0770-52-1300

※3月13日時点での問合せ先であり、本紙発行時点で変更となっている場合があります。

平成 27 年度事務局職員人事異動 (平成 27 年 4 月 1 日付)

事務局 長	藤 田 康 彦	事務局次長
福祉サービス支援課総括主任	山 城 康 雄	福祉サービス支援課主任
福祉のまちづくり推進課主任	武 藤 功 士	自立促進支援センター (兼務)
嘱 託 職 員		
総務企画課	岡 田 三千代	採用
総務企画課	笹 原 和 美	採用
福祉のまちづくり推進課	蟹 瀬 千 春	採用
(生活福祉資金相談員)	内 藤 正 弘	採用
(生活福祉資金相談員)	坂 口 法 子	採用
福祉サービス支援課	木 村 理恵子	採用
(経営指導員)	田 中 治	採用
(経営指導員)	笹 川 裕 一	再任用
福祉の人づくり支援課	西 川 かず菜	採用
(人材確保定着推進専門員)	玉 邑 幸 夫	採用
(人材確保定着推進専門員)	内 田 武 夫	採用
(人材確保定着推進専門員)	新 明 輝 美	採用
(女性支援アドバイザー)	今 富 廣 子	採用
すこやか長寿課	前 川 眞 子	採用
嶺南介護実習普及センター	橋 本 純 子	採用
(高齢者専門相談員)		

寄贈・寄附

誠にありがとうございました。

2月27日 (金)

寄付金 50,000 円

寄付者 トータル・ライフ・コンサルタント福井会 様
(福井市)

贈呈先 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会



トータル・ライフ・コンサルタント福井会 様

3月25日 (水)

寄付金 500,000 円

寄付者 清川 忠 様 (福井市)

贈呈先 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会

3月19日 (木)

寄付金 300,000 円

寄付者 一般社団法人 福井県電業協会 様 (福井市)

贈呈先 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会



一般社団法人 福井県電業協会 様

4月3日 (金)

寄付金 100,000 円

寄付者 磯山 霊秀 様 (福井市)

贈呈先 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会



磯山 霊秀 様

社会福祉事業の発展のために活用させていただきます。

平成27年度 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

補償金額 (保険金額)

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額 (保険金額) に同じ		
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円 (限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円 (限度額)	5億円 (限度額)

年間保険料

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		430円	650円

※天災タイプでは、天災 (地震・噴火・津波) に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

● 後遺障害も
フルカバーなので
安心です!!

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなった。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険

(普通傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動や
ボランティア活動の
さまざまな行事における
ケガ、賠償(主催者責任)
を補償!!

補償金額 (保険金額)

Aプラン・Bプランとも (Aプランは熱中症補償付)

保険金の種類		補償内容
ケガの補償	死亡保険金	400万円
	後遺障害保険金	400万円 (限度額)
	入院保険金日額	3,500円
	手術 保険金	入院中の手術 35,000円
		外来の手術 17,500円
	通院保険金日額	2,200円
賠償責任の補償	対人事故	1名・1事故 2億円 (限度額)
	対物事故	1事故 1,000万円 (限度額)

※賠償責任の補償の限度額は、補償の対象となるリスクの種類ごとに適用されます。

保険料 (1名あたり)

※A1、A2、A3(新設)の行事の内容は、パンフレットをご覧ください。

Aプラン (宿泊を伴わない行事)		
A1の行事	A2の行事	A3(新設)の行事
1日 28円 (最低保険料 560円) (最低加入人数 20名)	1日 126円 (最低保険料 2,520円) (最低加入人数 20名)	1日 248円 (最低保険料 4,960円) (最低加入人数 20名)
Bプラン (宿泊を伴う行事)		
1泊2日(2日間)	239円	4泊5日(5日間) 352円
2泊3日(3日間)	293円	5泊6日(6日間) 357円
3泊4日(4日間)	298円	6泊7日(7日間) 362円

※Aプランにおける区分は、開催する行事の内容によって異なります。別途お問い合わせください。

※Bプランの行事で上記以外の日程につきましては、別途お問い合わせください。

送迎サービス補償

(普通傷害保険)

- ◆ 送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(普通傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険)

- ◆ ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

● お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人
全国社会福祉協議会**
(引受幹事保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
TEL: 03 (3593) 6824

● この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
受付時間: 平日の 9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

(SJNK14-16220 (2015.2.6))